

# くろぎ通信 1月号 No. 48

平成24年1月1日発行

久保みずきレディースクリニック 泉レディースクリニック ひびき

## Dr. ヒロのひとりごと

『一陽来復 — 必ず、希望がある。』

みなさん、昨年は大変な年でした。巨大地震が東北地方を襲い、死者、行方不明者は2万人近くに及びました。親御さんをなくした子供達は、1500人にも及ぶそうです。これほど理不尽なことはない。なぜ真面目でいい人達が突然不幸に見舞われるのか。納得のいく答えが見つかりませんでした。たまたま最近読んだ『利他』という本に、少し答えがありました。(稲盛和夫さんと瀬戸内寂聴さんの対談集で、小学館から1200円で出ています。)その中の稲盛さんのお話の一部です。「精神的に苦しいかもしれない。経済的につかいかもしれない。それもまたあなたに与えられた運命です。運命を真面目に受けとめて逆境の中でも、『利他』の精神によって、他人のために生きる幸せを見い出すというふうに変えられれば、希望が持てるようになるんじゃないかと思うんですね。自分のためではなく、他人のために、もう一回やり直して頑張っていこうと、どんなにつらくとも、貧乏しても頑張っていこうと気持ちを入れ替えば、様々なことが好転して、必ず将来は開けてくると思うのです。」もし神社に行ったら、自分のためや

家族のために、儲かります様にとか、お受験受かります様にとか小さなお祈りをするのはやめて、今年の正月くらい「人類がそして地球全体が平和になります様に」と神前で大きく祈りましょう。

他人のために尽くす人生こそ、価値のある人生だ

by アインシュタイン

## Dr. ナオのひとりごと

新年あけまして、おめでとうございます。昨年は本当に色々な出来事があった一年でした。皆さんもきつとそう感じていらつしやると思います。昨年を表す漢字は『絆』でした。絆には「断つことのできない人と人との結びつき」という意味があります。

今年も、患者さん、クリニックの同僚、そして家族、友人との絆を大切に過ごしたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。

石原尚徳



おめでとうございます。

昨年は東日本大震災があり、言葉を失うほどの災害を経験しました。一人一人の命の大切さを思いしらされる一年でした。多くの赤ちゃんの分娩、健診の場に立ち会わせていただき、新しい命の大切さ、喜び、をさらに多くかみしめた一年でした。復興にはまだまだ時間と資金がかかり、被災された方の御苦労を思うと、がんばれ、がんばれの思いをお伝えするしかなく、残された我々は一日一日を大切に、一生懸命生きていくしかありません。

ハンドベルを学生のときにやっていた友人が、大学のOGでまた集まってコンサートをするので、先日行ってきました。一人一人が奏でるハンドベルの調べは、5オクターブの音階もあって、教会のなかでこたまし、荘厳で、日常の喧噪をわすれることができます。みなほとんどが、子育て、仕事をするなかで、時間をつくり、合わせているとのことでした。やはり、音楽の力は素晴らしいと思いつつても元氣になりました。

今年の私の抱負は、へしぶとく生きようです。音楽にもどんどん触れ、元氣でいたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

小児科 石井彩子

## Dr. アイコのひとりごと

## 明石診療所便り



新年あけましておめでとうございます。

皆さん初詣には行かれましたよね。日頃神社と無縁な人々も今年一年の幸せを神に祈ります。私は若い頃、結構な無神論者でした。実体のない神を信じるよりも自分を信じればよいと、かなり不遜な考えをもっていました。若気の至りとはいえ恥ずかしくなります。バリ島で毎朝人々が像や石や地面など至る所にお供えをして花を捧げる姿を見たときは、とても感動しました。万物に神々が宿る事を信じ感謝する、この考え方は八百よるずの神々を祭る我が国と通ずるものがあります。自分が見守られ生かされていることに感謝して、節度ある人生を歩みたいものです。年をとって若干弱ってきたせいもありませんが、今はほとんど神頼みの毎日です。二礼、二拍、一礼。

明石診療所 水木次郎

## ひなた助産院便り

明けましておめでとうございます。

安全に自然に、自宅におられるように寛いだ中で、家族と一緒に新しい家族・赤ちゃんを迎えて頂きたくてオープンしたひなた助産院が今年5月で5年目を迎えます。お陰さまで昨年末には360人の元気な赤ちゃんをお迎えする事が出来ました。本年も安全を第一に、お母さ

んと赤ちゃんが一杯の力を発揮していただけるお産、ゆつたりと和やかに寛ぎ、親しんで頂ける「ほっこり暖かなひなた」目指して、スタッフ一同頑張ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ひなた助産院 大内久子

## 泉レディースクリニック便り



年の初めに、今年ほど日本人が、この一年の幸せを祈った年はないでしょう。いろいろな悲しみや憂いを、新年を迎えることで、少しでも洗い流せることができればいいですね。

またひはのぼる

あけないよるはない

希望に満ちた若いひと

終盤を迎えた私たちも

残りの人生を悔いなく生きたいですね。

みなさまの健康と笑顔を、

心からお祈りします。

泉レディースクリニック 松尾泉



## 「断捨離」

「今必要なものの為に」

新年あけましておめでとうございます。

昨年秋、「流行」の二文字に弱い夫が、「これからは断捨離や」と叫ぶので、しかたなく私も付き合うことになりました。片づけようと思えば思うほど気が重くなり、あそこもここも手付かずのまま、我が家は築後18年。いつか使うかも、いつか見るかも、いつか着るかも、これはもったいない、思い出の品やから……。たまりにたまった「物・もの・モノ」を、ひたすら捨てる休日が今も続きます。

「断捨離」とは、心の執着を手放すためのヨガの教えに由来します。物を捨てるはじめて気づいたことは、今の生活に必要なものはほんのわずかしかない、ということでした。今という「時間」と「自分」を軸に物事を考えることが大切なんだと学びました。快適なくらしは「自分へのもてなし」、これができて「相手をもてなし」ゆとりも生まれる。

今自分にできることは何か、何をなすべきなのか、心の「断捨離」も心がけながら、スタッフとの人間関係を築き、ともに助け合いながらいい仕事をしていきたいと思えます。患者さまをおもてなしの心でお迎えできるように、力いっぱい励みます。

本年もよろしくお願ひいたします。

病棟師長 宮田和美



# 『結束力』

〜よりよいクリニックへ〜

明けましておめでとうございます。

冬本番となり、夜空の星がとてもきれいに見える季節になりました。よく夜空を見上げながら帰宅するのですが、その星の光は、何年もかかって、この地球に届いているのかと思うと、あまりの宇宙の大きさに圧倒され自分の存在はとても小さなものと思えます。

昨年は大きな震災がありました。津波の後に全てなくなった地をみると自然の力の大きさや天災に人は抗うことはできないと痛感したのです。私も17年前に経験した震災の記憶や、心の奥にしまっていた傷が蘇り辛い思いをしました。

しかし同時に人々が事態を受け入れて、助け合い結束して再生していく姿を見ることもできました。嘆いてばかりでは前へは進まないのです。

私達も11年目に入り、よりよいクリニックを目指して、スタッフが結束し地固める時期であると思います。ひとりひとりではちっぽけな人間ですが、自分たちができること、すべきことを見極め、力をあわせて進んで行こうと思います。



外来師長 竹中靖子



## お知らせ

2012年9月下旬〜12月中旬まで、本館建物の外壁補修工事を行います。

この工事は、御来院の方に、築10年を経過した建物を快適に使っていただくために必要な、点検を兼ねた工事でございます。建物のまわりに足場を組んで作業をしますので、駐車可能台数が減少いたします。また時折、工事・点検の作業音・振動等がでることがございます。入院ならびに外来患者様には大変御迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解をいただきますようお願いいたします。

理事長 久保寛倫

## 他己紹介

今回は、培養士の堀部晃央さんです。

### 第1位：笑顔

朝のあいさつからニコニコ、廊下を歩いている時もニコニコ。ブスツとしている所はみた事がないぐらいいつも笑顔です。でも、顕微鏡のぞき作業をしている時は真顔になります。とても真面目で、とてもかしこい人です。

### 第2位：気遣い上手

まわりの空気が読める人です。女性ばかりの職場で、スタッフの尻に敷かれながらどんな頼まれ事も素早く器用に対応しよく働いてくれます。みんな感謝しています。ありがとう。

### 第3位：イクメン

実は、家でも奥さんの尻に敷かれている様です。家事・育児なんでもこなしています。久保クリナンバーワンイクメンです。ダンナ様にするには堀部くんのような人がいいと思います。

### 堀部くんをこんな人に例えちゃいました

外国製の人形（ちよつと顔が濃い）

### 堀部くんへメッセージ

定年まで久保クリにいてね。おじいちゃんになってもニコニコ笑顔を忘れずに。

（スタッフ一同）



ほりへあきお



# 『タイムスリップ』



南太平洋の島国サモアが昨年末に自国の標準時を日付変更線の東から西側の時間帯に移した。地図では、サモアの西を通っていた日付変更線が東に引き直されるようだ。これにより、地球上で最も遅く日没を迎える国の一つから、最も早く日の出を迎える国に仲間入りする。日付を変える仕組みはこうだ。12月29日から日付が変わる際、30日の24時間分をまるごと消去し、31日午前0時とすることで、日付を一日早め、日付変更線を西へまたぐ。未来へタイムスリップ。

体外受精にもタイムスリップの方法がある。凍結保存だ。受精し、成長した受精卵を凍結しておき、患者さんの体調や、着床しやすい状態を整え、最良のタイミングで移植する方法である。移植までの間、受精卵は液体窒素と呼ばれるマイナス196度の中で眠っている。力いっぱい成長していく夢を見ながら…。早くて、ひと月。時には、数年間眠っているものもある。彼らは、ただ願う『早くお腹の中に戻って、ママやパパとこの先ずっと一緒に暮らしたい』と。今年も一人でも多くの患者様が、妊娠し、笑顔になるように、培養室からも願っています。急に一日が消去されることがあってもいいように、一日一日を大切に過ごしたいですね。

胚培養士 堀部晃央

# 『ご挨拶』



あけましておめでとうございます。当院は今年の2月で開院11年をむかえ、総スタッフ16職種、120名の所帯となりました。本年度も初心を忘れず、より良いチーム医療が行えるよう努力したいと思います。また、来院患者様に対し「おもてなしの心」「気遣い」を大切にし、快適に過ごして頂けるよう頑張っていますので、今年もどうぞよろしくお願いたします。

事務長 松本晃弘

# 患者様 各位

菅原正院長が闘病の間、分娩予約は、外来にてお申し出順に一ヶ月60名様とさせていただきます。おおよそ妊娠5週相当の方で御予約がいつばいになります。初診時、妊娠6週0日以降の方や、ハイリスク妊娠の方は他院にご紹介させていただきます。尚、ひなた助産院をご希望の方は、別途、分娩予約を受けております。大変御迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解をいただけますようお願いいたします。

理事長 久保寛倫



ママと赤ちゃんのための『ごはん』の本を出版しました。気になる『ごはん』の疑問について、私たちが分かりやすくお答えしています。



定価 1300 円ですが、受付にて 1000 円で購入できます。